

2023 年度事業計画

公益法人日本スカッシュ協会は、日本のスカッシュ競技の統括団体として下記の事業を各委員会において展開します。

- (1) スカッシュ競技の普及に関する事業
- (2) スカッシュ競技の競技力向上に関する事業
- (3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業
- (4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

■公益社団法人日本スカッシュ協会主催大会（予定）

※2023 年度の大会開催に関しましては、新型コロナ感染状況により、選手やスタッフの安全を考慮して開催の可否を決定致します。

- 第 34 回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会
日程:2023 年(令和 5 年)5 月 27 日・28 日
会場:Greetings Squash Saitama
- 第 34 回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会
日程:2023 年(令和 5 年)7 月 26 日～29 日
会場:Greetings Squash Saitama
- 第 29 回スカッシュマスターズカーニバル
日程:2023 年(令和 5 年)10 月 14 日～15 日
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
- 文部科学大臣杯争奪第 52 回全日本スカッシュ選手権大会(冠は予定)
<令和 5 年度スポーツ振興基金助成申請>
日程:2023 年(令和 5 年)11 月にて検討中
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE &トレッサ横浜
<4面ガラスコート設置開催予定>
- 2023JSA ジュニアチャレンジカップ
日程:2023年(令和 5 年)12月
会場:Squash Magic Academy Squash&Golf
- JOC ジュニアオリンピックカップ第 28回全日本ジュニアスカッシュ
選手権大会 (冠は予定)
日程:2024 年(令和 6 年)3 月23～25 日

- ① World Squash Day/ World Squash Week の実施
 主催:(公社)日本スカッシュ協会
 共催:世界スカッシュ連盟
 日程:2023年(令和5年)10月15日予定
 World Squash Week 2023年10月1日~15日
 内容:世界連盟と連携し世界中の選手・愛好家達と競技の魅力を共有、発信。
- ② 法人向け新協賛プラン(プレミアムパートナー)、日本代表サポートプランの策定に伴う協賛促進
- ③ 協会主催大会等のスポンサー契約及び協賛の増進
 全日本選手権を軸とした、全日本U23、ジュニアチャレンジカップ、マスターズカーニバル5大会への更なる協賛依頼活動を行う。
- ④ エアースカッシュキャラバンでの競技普及事業の促進
 2022年度の実施実績を軸に、全国各地に更なる普及活動を行う。
- ⑤ JSA ミッションである“To The Next Generation”へ向けて次世代選手達へ「正の遺産」を残すための基盤作りを本格的に始動する。

広報委員会

- ① 広報機関誌「SQUASH」の発行 (年2回予定)
 <2023年度日本スポーツ振興くじ助成事業>
 Vol. 93号 (夏の号) 2023年8月発行予定+電子ブック
 Vol. 94号 (冬の号) 2024年3月発行予定+電子ブック
 ・2023年度より紙媒体は縮小し、電子ブック化に移行するため
- ② 選手強化活動(イベント、トレーニング)の写真、YouTubeのコンテンツとして動配信
- ③ 協会ホームページの刷新に向けた準備
 現状、事務局から各方面に依頼をして掲載している状況が非効率のため運用方法からの見直し。コストを抑え且つ利便性の良い業者選定をしていく。

選手強化委員会

2023年度 ナショナルチーム活動予定

<海外派遣事業>

シニアチーム			
項目	開催月	場所	対象

アジア選手権個人戦	6/6～ 10	香港	ナショナルトップチーム
ワールドカップ	6/13 ～17	インド・チェンナイ	ナショナルトップチーム
アジア競技大会（団体）	9/26 ～30	中国・杭州	ナショナルトップチーム
アジア競技大会（個人戦・MIX ダブルス）	10/1 ～5	中国・杭州	ナショナルトップチーム
男子世界選手権団体戦	12/1 1～17	ニュージーランド	ナショナルトップチーム
ジュニアチーム			
第 30 回アジアジュニア個人戦	8/16 ～20	中国/大連	ジュニアナショナル
世界ジュニア（個人・団体）	7/18 ～29	オーストラリア/メル ボルン	ジュニアナショナル
<国内強化事業>			
ナショナルトレーニング	通年	Greetings Squash Saitama	ナショナル
スカウト選手練習会	通年	SQ-CUBE	スカウト選手 ※一般ジュニア
ジュニア夏キャンプ	8 月	関東地区	スカウト選手 ※一般ジュニア
西日本ジュニアキャンプ	9 月	西日本地区	スカウト選手 ※一般ジュニア
ジュニアナショナル強化練習会	1 月	関東地区	ジュニアナショナル
ジュニア冬キャンプ	2 月	関東地区	スカウト選手 ※一般ジュニア
ナショナル強化合宿	3 月	関東地区	ジュニアナショナル・ジュニアナシ ョナル

<海外選手派遣強化事業>

- ・ペナンジュニアオープン 日程未定 ジュニア選手

☆選手強化委員会【コーチ部会】

<活動予定>

- ・コーチ交流会（オンライン・リアル）
- ・コーチングワークショップ開催（年に 2～3 回）
- ・レベル T 講習会・レベル1講習会開催
- ・ホームページと協会公式 SNS 等を利用したコーチングに関する情報発信を実施

<事務的活動>

- ・レベル2コースのテキスト及びカリキュラム作成
- ・レベルT及びレベル1資料の見直しとアップデート
- ・新規コーチ実施者へのサポート体制構築(部会内にチームを発足させる)

競技委員会

- ① 公認大会の認定及びランキングの作成
- ② 公認大会の新型コロナ感染症対策ガイドライン運用
 コロナ禍における感染対策を盛り込んだスカッシュの大会開催ガイドラインを運用する。
 また、各公認大会の感染防止対策、事後対応を確認する。
 - ① 公認大会運営マニュアルの適正運用と見直し
 - ② 開催を予定している全日本選手権、その他ジュニア大会、公認大会主催者と協会
 で
 情報収集や検討と協議を重ねる。

レフリー委員会

- ① レフリー委員会ミーティング(オンライン) 4月
 ※その後、最低のペースとして2ヶ月に1回は開催していく
- ② レフリーワークショップ(リアル又はオンライン)5・9・1月
 ※年3回開催目標
- ③ 審判講習会は随時開催(支部からの開催依頼があった場合に対応をしていく)
- ④ アジア選手権個人戦へのレフリー派遣(渡航費協会負担)
- ⑤ 情報活動として以下を行う予定
 - *協会HP内にて、レフリーのスキルアップのための情報を提供していく
 - *1級設置に向けての資料・カリキュラム作成
 - *国内公認大会におけるレフリーアセスメント実施(年2回予定)

規則公認委員会

- ① 方針
 - ★当委員会では、常務理事会と専門委員会委員長は規則公認委員会の兼務委員として規則の策定・改訂にあたることを基本方針とする。
- ② 活動
 - JOC ガバナンスコード適合評価指摘の規則整備
 - ・「処分手続規程」
 - ・「通報・相談窓口に関する規程」
 - ・「倫理・コンプライアンス規程」(改訂)

■不足している規則の洗い出しと策定

- ・「危機管理規程」
- ・「個人情報保護規程」
- ・「利益相反規程」

■そのほか既存規程の見直し・改訂

総務委員会

① 会員募集事業と管理

＊個人会員及び団体会費の募集と登録協力を依頼する。

プレミアムパートナー会員については、2023年度よりJSAパートナープログラムへ移行を予定している。

個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は(株)アップロードの「スポーツエントリー」を利用し、会員情報を支部、大会へ提供。2023年度より団体会員の登録についても「スポーツエントリー」の利用を行う。

※2023年度の会員募集は、団体会員 1/10～個人会員 2/1～開始予定。

② JOC,JADA,等各加盟団体との連携。

③ 会議体運営

専門委員会委員長会議と常務理事会の連携、TEAMS の活用により、各委員会活動の情報共有をすすめていく。

④ 各種規程類の整備

未制定の各種規程類について整備を推進していく。

③ 財務担当活動

- ・公認会計士及び協会監事による会計監査を行い、2022年度財務諸表を理事会及び総会に諮り承認。
- ・2023年度の人事労務・経理入力および管理。
- ・2024年度の予算案の策定及び理事会での承認
- ・各種助成金に関する調査、申請と報告業務。

⑥ 公益社団法人定期報告

- ・2022年度定期事業報告提出⇒6月
- ・2023年度定期事業計画提出⇒3月

☆総務委員会【国際部】

目標:1 アジアの国としての協会の地位と運営地盤の確立を目指す

- ① 世界スカッシュ連盟(WSF)、アジアスカッシュ連盟(ASF)をはじめとする国際連盟、関係各国協会、PSA(プロ協会)と情報収集と連携強化。
- ② 世界スカッシュ連盟及びアジアスカッシュ連盟主催の総会への出席。 ルール変更などの通達事項の国内競技者への報告。
大会スケジュール情報を収集し各専門委員会との連携発信。

- ③ 2026年アジア競技大会に向けての国内外に向けたロビー活動およびキャンペーン活動の実施。
- ④ 2026年愛知・名古屋開催のアジア競技大会への競技入りに向けて、国際連盟との連携強化と国内支部との連携。
- ⑤ ワールドマスターズゲームズ 2027 関西に向けての組織委員会とからの情報収集と京都市実行委員会、JSA 関西支部との連携再編成。
- ⑥ 国際大会における代表選手派遣手続きの効率化と業務手法の再構築

☆総務委員会【アスリート部会】

- ① ドローのシーディングシステムの意見収集及び提案、検討
- ② ワールドスカッシュデーイベント企画及び提案
- ③ 強化指定選手からの意見収集及び提案
- ④ 協会主催イベントへの参加

総務委員会【アンチ・ドーピング部会】

- ①教育講習会を実施 日程 1月ジュニアナショナル強化合宿期間内にて実施
3月ナショナル強化合宿 合宿期間内にて実施
- ②その他 講習会 オンラインにて実施予定

地区支部委員会

- ① 安全性を重視した大会開催に関する課題・解決策の共有
- ② 各地区支部の活動状況と課題の共有・解決策の検討
- ③ 地区支部の意見集約と常務理事会への提言・提案を行う
・常務理事会及び専門委員会委員長会議にて協議される事案に対する、地区支部の意見集約
・地区支部意見を集約しの常務理事会への提言・提案の具申
- ④ 地区支部における会員数拡大のための施策検討
・会員制度・給付金制度の制度改革を含む検討

⑤ 地区支部に対する、コンプライアンス研修の実施

学連委員会

- ① 活動内容を刷新しての新設委員会のため 1 年目は以下を整備することを中心に課題を討議する
 - ・JSA 学連委員会の定期開催とこれによる課題抽出、解決策検討

- ② 見えている主な課題
 - ・登録料の考え方
 - ・学生のプロ化
 - ・1～2 年という学連サイドの要職者との関係性と継続性の構築
 - ・大学 OB 組織とのコラボ模索
 - ・学生連盟脱退大学の問題